

北海道における高病原性鳥インフルエンザ 疑似患畜の確認（今季初）

北海道の養鶏場で、今シーズン1例目の高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました。環境中は、鳥インフルエンザウイルスで汚染されているとの認識のもと、消毒の実施、防鳥ネットの点検・修繕などの対策をお願いします！

◇概要

1 疑似患畜の確認年月日
令和7年10月22日（水）

2 農場の概要
所在地：北海道白老町
飼養状況：採卵鶏（約45.9万羽）

3 経緯
10月21日（火）死亡羽数が増加している旨の通報を受け、簡易検査を実施し陽性
10月22日（水）遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認



<特に以下の予防対策の点検・確認を再度お願いします>

- 飼養する家きんの異状の有無
- 異常家きん発生時の早期通報の徹底
- 防鳥ネット・壁・金網等の破損箇所の再確認と修繕
- 長靴や車両の消毒等を行い、ウイルスの人・車両又は野鳥を含む野生動物を介した農場及び家きん舎内への侵入防止対策を徹底
- 農場周辺の消石灰散布など消毒の徹底

近隣に池や沼等がある農場は、特に警戒をお願いします！

★家きんに異状が認められた場合は、速やかに、かかりつけの獣医師又は最寄りの家畜保健衛生所へ連絡してください。

県央家畜保健衛生所 TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279（夜間・休日）090-7205-0895

県南家畜保健衛生所 TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144（夜間・休日）090-7205-1402

県北家畜保健衛生所 TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825（夜間・休日）090-7205-1826